

第1学年 実力試験について

◆実施日：1月11日（水）

◆形式：マーク式

◆時 程：

時 間	学年統一
9:15～10:35（80分）	英語（200点）
10:50～12:10（80分）	数学（200点）
12:10～12:55（45分）	給 食
13:00～14:20（80分）	国語（200点）
14:35～15:35（60分）	歴史総合・公共（各 50点）
15:50～16:50（60分）	物理基礎・生物基礎（各 50点）

※欠席者は1月12日（木）に追試験を行います。安易な欠席はしないでください。

◆試験範囲と学習指針

英 語

*範囲と配点

全て選択式で初見の問題となります。

○リスニング 50 点

○文法・語法 30 点

文法・語法問題に関しては 1 学期・2 学期に学習した範囲を中心に出题されます（特に時制・助動詞・受動態・不定詞・動名詞・関係詞）。

○読解 120 点（長文 4 題）

*学習指針

今までの学習範囲をどれだけ丁寧に復習・定着させることが出来るかを意識して冬休みを過ごして下さい。特に英単語・英文法の基礎固めは 1 年生において重要です。文法問題に関してはただ解答が分かるだけでなく、“なぜそうなるのか？”を理解して下さい。論理・表現 I で扱っている教科書や参考書を使い慣用表現などを含めて復習をしましょう。読んで分かるだけでなく、日本語を見て英語に直せる、人に説明できる位の理解度・定着度が重要です。

また長文読解に関しては、高 1 で利用した教科書を繰り返し読んで、内容理解、単語の把握をするように努めて下さい。今まで受けた進研模試などの長文も解説と一緒に読み、意味内容・文構造・単語を理解することも重要です。長文に関しては 30 回以上音読すると定着率が上がると言われていますので、多くの文章を繰り返し読んでください。音読する際には教科書の QR コードを利用してオーバーラッピングやシャドウイングをするとより効果的です。

数 学

*範囲

数学 I 第 1 章 数と式

第 2 章 2 次関数

第 3 章 集合と命題

第 4 章 図形と計量

数学 A 第 2 章 図形の性質(第 3 節「作図」、第 4 節「空間図形」は除く)

中学校の学習内容 全範囲

*学習指針

数学 I A 基礎問題から応用問題まで幅広く出題する

教科書の内容をしっかりと復習しておくこと

問題集を使って反復演習をしておくこと

中学校の学習内容 既習内容全てが出題範囲のため復習に努めること

国語

＊範囲

現代文：「新演習現代文アチーブ1 四訂版」34～55ページ

「ことのは」58～69ページ その他応用問題等

言語文化：知識分野 古文常識（現代仮名遣い、古典語の読み）

文法（用言・助動詞）、語彙

読解分野 文脈把握、心情把握、主題把握

漢文：知識分野 訓読（書き下し、返り点付け）、語彙（読み、意味）

句法

読解分野 文脈把握、主題把握

＊学習指針

現代文：配点（100点）→読解問題（60点）、漢字語句問題（40点）

下記、10項目（①～⑧評論文、⑨、⑩小説）を習得することと共に、基本的な漢字、語彙を習得することを目的とする。

- ①文章と文章の関係をつかむ
- ②各段落の内容をつかむ
- ③キーワードの意味を捉える
- ④対比の関係に注目する
- ⑤論理の展開を正確に読み取る
- ⑥筆者の主張とその理由をつかむ
- ⑦具体例の直前・直後に着目する
- ⑧同一内容の言い換えに着目する
- ⑨登場人物の人物像と心情をつかむ
- ⑩場面設定と展開を正確につかむ、

読解にあたっては、接続詞やキーワード、心情語等に適切な書き込みを行い、本文中の根拠に基づいた解答ができるよう心がけること。

日本語だからわかる、というのは思い込みに過ぎない。その程度の問題であれば大学受験の科目として課せられることはない。きちんと読解のルールに基づいた解法を身に付けると共に、語彙力についても日ごろから辞書を引いたり、単語帳を覚えたりするなどし、意識して身に付けていくこと。

言語文化：配点（１００点）

１学年での目標は基本的な語彙と基本的な文法事項の定着です。この夏は１学期に学習した文法事項と語彙の定着を図ってください。特に古文の用言の活用は次に続く助動詞の学習に必要不可欠な文法です。

古文範囲（５０点）

：歴史的仮名遣い、用言の活用、係り結び、基本的助詞（ば、どもなど）
語彙に関しては授業、ワーク、模試等で学習した単語を中心とする
学習指針は以下の通りです

【知識・技能】配点 ３０点

- ① 歴史的仮名遣いの読み、単語の意味が答えられる。
- ② 用言の活用の種類と活用形、助動詞の意味と活用形が答えられる。
- ③ 重要な語彙や文法を正しくとらえて現代語訳できる。

【思考力・表現力・判断力】配点 ２０点

- ④ 省略されている語や人物を補って現代語訳できる。
- ⑤ 文脈に従って、行動論理の説明ができる。

漢文範囲

：基本的な訓読、句法（否定、反語、使役、受身、願望など）
語彙に関しては授業、ワーク、模試等で学習した単語を中心とする
学習指針としては

【知識・技能】配点 ３０点

- ① 漢文を、正しい順番で読め、書き下し文に直せる。
- ② 書き下し文、重要句法に基づいて、漢文を訓読できる。
- ③ 重要語の読み、意味が答えられる。

【思考力・表現力・判断力】配点 ２０点

- ④ 文脈に応じた適切な現代語訳ができる。
- ⑤ 文脈に従って、行動論理の説明ができる。

歴史総合・公共

歴史総合：配点（５０点）

＊範囲

【教科書】P132（世界恐慌の発生と各国の対応）～P167（占領期の世相と文化）まで
【新歴史総合 研究ノート】P52～P63

＊学習指針

以下の①～③を達成することを学習の目標にしてもらいたいと思います。

①教科書にある歴史用語を暗記する。

②教科書にあるグラフや写真や史料の内容を理解する。

③歴史の流れを理解し、資本主義陣営、社会主義陣営それぞれの動きを説明できる。

○具体的な勉強方法

【①の勉強法】

教科書の太字の歴史用語を暗記できるよう努力することです。教科書に蛍光ペンでマーカーを引き赤シートで隠せば暗記に使えます。学校から配布されている問題集を繰り返し解くことも有効です。

【②の勉強法】

教科書に掲載されているグラフ・写真の理解となぜという視点で考えることです。

上の①と②の内容から基礎問題・標準問題を出题します。教科書の内容を覚えることで6割～7割は取ることができる試験になります。

【③の勉強法】

学校の授業や教科書の内容を思い出しながら、どちらの陣営か区別して色分けして考えると良いです。学校の授業や教科書の内容を自分で再現できるようになってください。

その他、共通テストを意識した難易度の高い問題を出题します。思考力を問う問題になりますので、粘り強く挑戦してください。

公共：配点（50点）

＊範囲

○教科書 経済分野 P.148～183、政治分野 P.122～129

＊学習指針

大学入学共通テストレベルの問題を出题します。基本的な知識を問う問題に加えて、思考力を問う問題まで出题します。基本事項をよく復習しておきましょう。試験を解いて自分の理解度を確認し、解けなかった問題は復習して着実に理解しましょう。

理 科

物理基礎：配点（５０点）

＊範囲

○教科書 P. 14～p. 116

【第１部 物体の運動とエネルギー】（発展は除く）

＊学習指針

授業では『第２部 熱』や『第３部 波』を学習しているクラスもあると思いますが、今回の試験範囲は第１部です。１学期から学んできた内容を覚えていますか？

- ・合成速度，相対速度
- ・等加速度直線運動
- ・力のつり合い
- ・運動の法則（運動方程式）
- ・仕事，仕事率
- ・力学的エネルギー

他にもいろいろなことを学習しました。基本的な考え方を理解した上で，公式をきちんと使いこなせるようになっておきましょう。

また，問題集（ベストフィット）は，p 2～73 の範囲が対象になりますから，教科書と合わせて学習をしておいて下さい。

生物基礎：配点（５０点）

＊範囲

○教科書 生物基礎（数研出版）p13～p151

探究活動 予備学習①顕微鏡観察の基本操作/②マイクロメーターによる測定

第１章 生物の特徴

第２章 遺伝子とそのはたらき

第３章 生物の体内環境

○リードLight ノート p2～p75

＊学習指針

新型コロナ禍の「第８波」が猛威を振るわないことを願いつつ，是非とも大人しく在宅して，生物基礎の学習に勤めましょう。そして，「生命とは何か？」→「生きるとは何か？」→「私は何者か？」→「将来，どんな人生にしたいのか？」という，何となく哲学的な問いに対して，もの想いにふけて下さい。

第1章「生物の特徴」…「細胞」を中心に，共通性と多様性を学びました。

第2章「遺伝子とそのはたらき」…DNAが情報伝達物質として大活躍！

遺伝情報の「発現」と「分配（複製）」

📖 第1章と第2章は，動・植物を問わず，全生命体に共通する内容でした。

第3章「生物の体内環境」…「体液」とその「恒常性」について学びました。

📖 第3章は，動物の体内環境に関して，将来，医療・看護・保健・健康・運動系に進みたい生徒は，特にこの分野は絶対にマスターして欲しい内容です。